



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社ZUU 上場取引所 東
コード番号 4387 URL <https://zuu.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 富田 和成
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大井 賢治 TEL 03-4405-6102
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,337	△24.0	△132	-	△129	-	△118	-
2023年3月期第2四半期	1,759	17.9	101	-	102	-	65	-

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △127百万円 (-%) 2023年3月期第2四半期 46百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△25.02	-
2023年3月期第2四半期	13.87	13.85

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,408	1,221	33.4
2023年3月期	3,065	1,355	41.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,138百万円 2023年3月期 1,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,070	△9.7	△170	-	△170	-	△170	-	△35.79
	~3,960	~16.5	~410	~94.7	~400	~90.7	~230	~155.5	~48.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	4,749,860株	2023年3月期	4,749,860株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	224株	2023年3月期	224株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	4,749,636株	2023年3月期2Q	4,749,672株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社の決算補足説明資料は決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(表示方法の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、ウクライナ情勢や急激な円安進行による物価の高騰があるものの、インバウンド需要の回復、サービスへの消費傾向が改善するなど景気は緩やかに回復基調にあります。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、株式会社電通発表の『2022年 日本の広告費』（2023年2月24日発表）によると、社会のデジタル化を背景に、好調な「インターネット広告費」の成長に市場全体が支えられ、日本の総広告費は前年比104.4%増の7.1兆円となり過去最高となりました。インターネット広告費は、継続的に高い成長率を維持しており、3兆円を超え広告市場全体の成長を後押ししております。このような環境の中、当社グループはお客様や従業員の健康・安全を確保するとともに、経済を活性化させていくため、リモートワーク頻度の見直し、社内イベントのリアル開催等にも取り組んでいくとともに、「機会格差を解消し、持続的に挑戦できる世界へ」というパーパスの下、「ZUU online」等の自社メディアのユーザー層の拡大、及び他有力メディアとの連携、並びに金融トランザクションの拡大による提供サービス・商品ラインナップの強化やコンサルティング・サービスの受注効率の向上を目指しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,337,636千円（前年同四半期比24.0%減）、営業損失は132,078千円（前年同四半期は営業利益101,031千円）、経常損失は129,759千円（前年同四半期は経常利益102,563千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は118,826千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益65,867千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。詳細は添付資料2 四半期連結財務諸表及び主な注記（セグメント情報等）の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

（フィンテック・プラットフォーム事業）

検索エンジンのアルゴリズム変更の影響が長期化し、訪問ユーザー数が想定していた程伸びず、送客事業は伸び悩みました。その結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高834,774千円（前年同四半期比35.7%減）、営業損失は20,515千円（前年同四半期営業利益208,535千円）となりました。

（フィンテック・トランザクション事業）

融資型クラウド・ファンディングは順調に成立案件が続き、また前連結会計年度に連結子会社化した株式会社ZUU Wealth Managementが主となり金融商品仲介業及び保険代理業が順調な伸びを示しました。一方で、株式投資型クラウド・ファンディングは案件数が伸び悩んだことから引き続きコストが先行する状況となり、PDCA関連サービス(注)については大口の受注も見られたものの新規受注件数が伸び悩みました。その結果、売上高は502,861千円（前年同四半期比9.1%増）、営業損失は111,562千円（前年同四半期は営業損失107,503千円）となりました。

(注)：当社のPDCAノウハウを活用した組織マネジメントSaaSサービス「PDCA Cloud」およびPDCAノウハウによるコンサルティングサービス「PDCA Engineering」等をSMB中心に提供しております。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,028,258千円となり、前連結会計年度末に比べ302,223千円増加いたしました。これは主に、営業貸付金が559,000千円増加し、売掛金が197,720千円減少したことによるものであります。固定資産は380,593千円となり、前連結会計年度末に比べ40,672千円増加いたしました。これは主に繰延税金資産55,656千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,408,851千円となり、前連結会計年度末に比べ342,896千円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,945,330千円となり、前連結会計年度末に比べ349,779千円増加いたしました。これは主に匿名組合出資預り金が639,000千円増加し、未払法人税等が93,279千円減少したことによるものであります。固定負債は242,298千円となり、前連結会計年度末に比べ127,501千円増加いたしました。これは主に長期借入金114,204千円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、2,187,628千円となり、前連結会計年度末に比べ477,280千円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,221,222千円となり、前連結会計年度末に比べ134,384千円減少いたしました。親会社株主に帰属する四半期純損失118,827千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は33.4%（前連結会計年度末は41.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は概ね計画どおりに推移しており、2022年5月13日公表の業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,493,162	1,387,056
売掛金	421,409	223,688
仕掛品	3,393	2,821
営業貸付金	750,450	1,309,450
その他	62,692	110,313
貸倒引当金	△5,072	△5,072
流動資産合計	2,726,034	3,028,258
固定資産		
有形固定資産	25,792	50,798
無形固定資産		
のれん	107,874	96,519
その他	69	62
無形固定資産合計	107,944	96,582
投資その他の資産		
投資有価証券	55,000	55,000
敷金及び保証金	110,324	81,707
繰延税金資産	39,407	95,064
その他	1,450	1,440
投資その他の資産合計	206,182	233,212
固定資産合計	339,920	380,593
資産合計	3,065,954	3,408,851
負債の部		
流動負債		
買掛金	88,712	57,090
1年内返済予定の長期借入金	25,992	93,192
未払金	172,744	186,794
未払法人税等	144,050	50,771
匿名組合出資預り金	750,450	1,389,450
その他	413,600	168,031
流動負債合計	1,595,551	1,945,330
固定負債		
資産除去債務	15,121	28,418
長期借入金	99,676	213,880
固定負債合計	114,797	242,298
負債合計	1,710,348	2,187,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	879,556	879,556
資本剰余金	887,149	887,149
利益剰余金	△504,220	△623,047
自己株式	△445	△445
株主資本合計	1,262,039	1,143,212
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,918	△5,173
その他の包括利益累計額合計	△3,918	△5,173
新株予約権	85,987	79,083
非支配株主持分	11,499	4,099
純資産合計	1,355,606	1,221,222
負債純資産合計	3,065,954	3,408,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,759,216	1,337,636
売上原価	471,993	526,888
売上総利益	1,287,222	810,748
販売費及び一般管理費	1,186,191	942,826
営業利益又は営業損失(△)	101,031	△132,078
営業外収益		
受取利息	6	9
為替差益	1,459	-
助成金収入	-	3,200
その他	434	80
営業外収益合計	1,901	3,290
営業外費用		
支払利息	29	877
為替差損	-	9
支払手数料	339	46
その他	-	37
営業外費用合計	369	971
経常利益又は経常損失(△)	102,563	△129,759
特別利益		
新株予約権戻入益	4,269	9,404
特別利益合計	4,269	9,404
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益又は純損失(△)	106,832	△120,354
匿名組合損益分配額	6,082	24,516
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	100,749	△144,871
法人税、住民税及び事業税	52,884	△18,645
法人税等合計	52,884	△18,645
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,865	△126,226
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,002	△7,399
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	65,867	△118,826

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,865	△126,226
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,359	△1,254
その他の包括利益合計	△1,359	△1,254
四半期包括利益	46,506	△127,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,508	△120,080
非支配株主に係る四半期包括利益	△18,002	△7,399

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	100,749	△144,871
減価償却費	4,996	7,626
株式報酬費用	7,611	3,987
のれん償却額	-	11,355
新株予約権戻入益	△4,269	△9,404
受取利息	△6	△9
支払利息	29	877
支払手数料	339	0
売上債権の増減額(△は増加)	164,495	198,267
営業貸付金の増減額(△は増加)	△165,000	△559,000
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,723	△31,621
匿名組合出資預り金の増減額(△は減少)	165,000	639,000
顧客預り金の増減額(△は減少)	△22,915	△212,951
未払金の増減額(△は減少)	△69,627	11,986
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,068	△17,547
その他	△23,264	△50,698
小計	158,483	△153,004
利息の受取額	6	9
利息の支払額	△29	△877
法人税等の還付額	47,967	-
法人税等の支払額	△1,010	△141,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	205,417	△295,173
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△113	△19,061
敷金及び保証金の回収による収入	-	28,168
その他	-	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113	9,117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△19,170	-
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	-	△18,596
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,500	-
非支配株主からの払込みによる収入	110,545	-
その他	△406	△1,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	88,467	179,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	232	32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	294,004	△106,105
現金及び現金同等物の期首残高	1,035,443	1,493,162
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,329,447	1,387,056

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

従来、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「営業貸付金の増減額」、「匿名組合出資預り金の増減額」は金額的重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結会計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、営業活動によるキャッシュ・フローに表示しておりました「その他」△23,264千円は、「営業貸付金の増減額」△165,000千円、「匿名組合出資預り金の増減額」165,000千円、「その他」△23,264千円として組み替えております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	フィンテック・ プラットフォーム	フィンテック・ トランザクション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,298,392	460,824	1,759,216	-	1,759,216
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,830	1,490	3,320	△3,320	-
計	1,300,222	462,314	1,762,536	△3,320	1,759,216
セグメント利益 又は損失(△)	208,535	△107,503	101,031	-	101,031

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	フィンテック・ プラットフォーム	フィンテック・ トランザクション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	834,774	502,861	1,337,636	-	1,337,636
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	300	-	300	△300	-
計	835,074	502,861	1,337,936	△300	1,337,636
セグメント損失 (△)	△20,515	△111,562	△132,078	-	△132,078

(注)1. セグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度に金融商品仲介業及び保険代理業を営む株式会社ZUU Wealth Managementを連結子会社化したことに伴い、業績管理区分を見直して金融サービスを集約することとし、従来の報告セグメントのうち「クラウド・ファンディング事業」を「フィンテック・トランザクション事業」に含めるように変更し、報告セグメントを「フィンテック・プラットフォーム事業」及び「フィンテック・トランザクション事業」としております。

この変更により、従来の「クラウド・ファンディング事業」及び従来「フィンテック・プラットフォーム

事業」に含めていた金融商品仲介業並びに保険代理業は、金融ライセンスサービスとして「金融トランザクション収益」とし、「フィンテック・トランザクション事業」に含めております。

また、従来「フィンテック・プラットフォーム事業」に含めていた「PDCA関連サービス収益」は、金融ソリューションサービスと位置付けて「フィンテック・トランザクション事業」に含めるように変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。